

# コミュニティ 茨曾根だより

## 第11号

令和4年3月22日発行

発行：コミュニティ茨曾根  
連絡先：新潟市南区茨曾根 3443  
茨曾根地域生活センター  
Tel 375-2035

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

### あいさつ

コミュニティ茨曾根

会長 丸山 直樹

コロナ禍の中、我慢の生活が始まってもう2年。次々に現れる変異株に翻弄される毎日が続き、マスク着用と手指消毒が当たり前の生活になり、いつ誰が感染しても不思議ではないような状況が続いています。日頃より、一人一人が感染症対策に十分に注意され、一日も早く収束することを願っています。

今年度は世代間交流の柱でもありません。夏祭り、そしてカーリング大会、敬老会など、ほとんどの行事がコロナ禍のため中止となりましたが、白根地区公民館とコミュニティ茨曾根が連携いたしました。コミュニティコーディネーター育成講座（CC講座）を開催することとなりました。

これは白根高校の生徒達を対象とした取り組みで、地域課題に向き合い、考え、行動する若者の育成を目的とし、地域と協力して地域課題の解決方法を考えるというもので、11名の生徒が参加しています。過去に大通、庄瀬、小林地区が取り組んでいます。今回4回目の茨曾根においては、若者から高齢者まで気軽に

無理なく集まれる場所、そして長く続けられるようなイベントの企画の提案をお願いしてあります。

近年、どこで大規模災害が発生するかわからないような状態になっています。災害は待ってくれません。平時からの備えの重要性を考え、防災力が強く求められています。今までは茨曾根には防災士の資格を持った人が生活センター職員1名のみでしたが、新しく1名の方が資格を取得されました。今後も募集をしていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

1年間、地域の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 環境美化活動

7月31日（土）に、茨曾根地域生活センターと農村公園周辺の除草、樹木の剪定を行いました。

また、10月26日（火）にはプランターにパンジーと葉ポタンの花を植栽し、茨曾根地域生活センター玄関に設置しました。玄関周りが華やかになり、



センターを利用される方もお花が会話のきっかけになったりと嬉しい効果が生まれています。

### 住み郷南区支部表彰式

12月1日、南区役所で住みよい郷土推進協議会（住み郷）南区支部の市長感謝状と会長表彰状の伝達式が行われました。



住み郷は自治会・町内会が会員となり、地域の環境美化などに取り組んでいます。

長年に渡り活動された優良団体として、茨曾根地区から新潟市南区自治会、功労者として上茨の小林清さんへ五十嵐区長から表彰状が贈呈されました。



# 南区地域福祉アクションプラン

新潟市が策定する地域福祉計画と新潟市社会福祉協議会が主体となって地域の生活課題の解決を見つけ出す地域福祉活動計画を南区として一体的に策定したものを「南区地域福祉アクションプラン」と言います。

今年度から新たに「第三期茨曾根地区別計画」が策定され、六年かけて課題解決に向けて活動していく事になります。



南区地域福祉活動計画（地区別計画）2021～26	
笑顔で支えあう 桃の花咲く 茨曾根	
推進目標	期待される取り組み
1 支えあいのしくみづくり	人材確保・人材育成 地域の茶の間の推進 介護予防・交流機会
2 子供たちを地域で育てる	子供達の自己肯定感を高める活動
3 防災・減災の取り組み	災害時に備える  避難行動要支援者を支える取り組み

## 今年度の取り組み報告と今後の課題

茨曾根地区アクションプラン推進委員

上杉 小貴子

### 支えあいのしくみづくり

茨曾根地区の高齢化率は、三十四、九%、一人暮らしの高齢者や高齢者の二人暮らし等の家庭が年々増加しています。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けられる為、地域が主体となって行う取り組みを総称して「支えあいのしくみづくり」と言います。住民と行政が様々な機関とつながり、協働で支えあいの地域づくりを進めています。

茨曾根地区の推進目標である支えあいのしくみづくりを、どのような形で創り上げていくかが今後の課題です。しかし茨曾根には、昔から五軒組など近所で互いに助け合ってきた歴史があります。現代に即したやり方で、茨曾根を支えあいのある地域にして行きたいと考えます。

### 私たちが直面する課題

#### 1 超高齢化社会

高齢者の急増（南区順位3位）  
認知症高齢者の増加  
単身高齢者のみの世帯の急増  
介護保険財源不足と  
介護保険料の負担増

#### 2 少子化社会

3 生活困窮者の増加  
生活保護世帯の増加  
子どもの貧困

#### 4 地域のつながりの希薄化

## 地域のお茶の間活動 茨曾根地区の活動



下茨



道湯



清水

(参考)  
平均寿命と健康寿命  
(H27調査：新潟市)  
男性：平均81.3歳  
健康72.02歳  
差9.28歳  
女性：平均87.60歳  
健康75.20歳  
差12.40歳

地域の茶の間・いきいきサロン  
茨曾根地区 5か所（東萱場、下茨、道湯、清水、上茨）

お茶の間で、定期的に皆さんで触れ合うことは認知症の予防につながります。道湯のお茶の間では、月2回「茨曾根健康百歳体操」を行い足腰の衰え防止に努めています。下茨のお茶の間では、老人会の生き甲斐農園で育てた野菜を収穫し調理してみんなで味わい楽しんでいきます。

## 茨曾根地区社会福祉協議会

今年度も「敬老会」は、中止となってしまいました。二年続けての中止となり、一日も早くコロナの終息を願います。

### 茨曾根地区社協・研修会

#### 「アクションプランと外出支援について」

六月十九日（土）十時～ 地域生活センター

#### 一、アクションプランの地区別計画について

南区社会福祉協議会 横山めぐみ

#### 二、オンライン講習

#### 地域で取り組む移動・外出支援について

全国移動ネットワークサービス 河崎民子



全国で問題になっていいる高齢者の外出支援を地域で助けあっている事例を紹介して頂き、自分達でも出来る事がないかを検討していく研修内容でした。

#### ◆「白南・白根第一圏域の移動に関する検討会」

十月六日（水）十九時～

#### ◆在宅福祉訪問事業

一人暮らし高齢者、寝たきり介護者、身体障害者  
六月・九月・十一月の年三回「お弁当と慰問品」を配布致しました。



#### ◆安心箱支援事業

十一月にお届け

災害時用の保存食を数種類配布致しました。

## 茨曾根地区自主防災会

今年は、コロナの影響で茨曾根地区全体での避難訓練は中止とさせて頂いたいただきましたが、道漕自治会と下茨自治会では、自治会単位で防災・減災への取り組みを行いました。

#### ◆道漕自治会自主防災会

#### 一、災害時図上訓練実施

四月六日、六月二十三日 出席者…十六名

災害時における避難行動要支援者及び名簿に載っていないが心配な人の把握が必要であるとの意見から「助け合い名簿」の作成と緊急時災害時の連絡網の作成を決定しました。



#### 二、防災・避難訓練

十月十七日

各組親が全世帯に防災アンケート訪問実施。

助成金でブルーシート、毛布等を購入しました。

#### 三、アンケートの結果

災害についての危機意識は皆さん持っているが、実際に災害に備えての防災用具や備蓄品準備が出来ていない家庭が多い事が分かりました。今後、「**自分の命は自分で守る努力をする**」ことの大切さを地域に勧めて行く。



#### ◆下茨自治会自主防災会

#### 一、災害時の助け合いについての研修

四月二十八日 出席者…二十四名

支えあいによる地域づくりの説明  
緊急災害時連絡網について確認  
車椅子等避難行動要支援者名簿の対応方法やどこに避難するか？  
等の質問があり、今後この課題に向けて取り組むことに決定。



#### 二、災害時図上訓練実施

七月十八日 出席者…二十七名

避難行動要支援者名簿の災害時の安否確認には、班の誰が向かえば良いか、避難経路はどうするか等意見交換を行う。

その結果、現在は五軒組のつながりが希薄化しており、同じ五軒組の中でも世帯の人数が分からない、介助が必要な方がいるかどうか理解できていない等が判明。

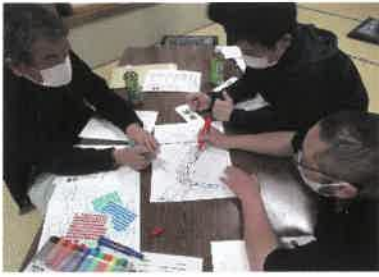
下茨自治会の「緊急時災害時連絡網」の作成と「安否確認台帳」の作成を決定しました。

#### 《避難弱者を地域で支えあって行く事が目的》

#### 三、防災・避難訓練

十月十七日

各班の伍長が全世帯に防災アンケート調査訪問、備蓄ビスケット、防災用品チェックリスト配布。  
助成金で、車椅子一台、LEDランタン2台、備蓄用乾電池等を購入出来ました。



道滬自主防災会図上訓練

## 防災・減災への取り組み

**防災士** 下茨自治会 長崎 良平さん  
今年度、防災士資格を取得されました

これから茨曾根地域の防災リーダーとして活躍を期待しています！



下茨自主防災会図上訓練



10/17 防災訓練アンケート調査訪問の様子



防災訓練で車椅子購入出来ました！



## 白南中学校 2年生福祉教育・アクションプランの取り組み

白南中学校では、生徒が地域の一員として地域に学び、地域とかかわり、地域に誇りをもつ生徒になってほしいと、今年度はSDGsの視点や「地域福祉アクションプラン」「南区地域カルテ」地域課題を踏まえた総合的な学習・福祉教育を実施いたしました。

「大好きにいがた」全10時間		実施計画	
1	地域課題と出会う (2時間)	6/29	3.4限
2	自己の課題を決める (2時間)	7/06	5.6限
3	解決策を考える (2時間)	7/13	3.4限
4	解決策を練る (2時間)	8/31	5.6限
5	解決策を確かめる (2時間)	10/01	5.6限
①発表(プレゼンテーション) ※冒頭動画			
②評価を受ける			
③振り返り今後の目標をもつ			

アクションプラン推進員と南区社会福祉協議会がコーチとして生徒達をサポート致しました。

1. 地域課題との出会い
2. 気になった事の理解
3. 課題別4つの分野に分かれて解決策を考える

子ども子育て支援

障がい者・生活困窮者支援

高齢者介護支援・健康寿命

地域づくり

4. 中間発表  
みんなで練りあげる

5. 解決策の発表  
プレゼンテーション  
南区区長及び来賓者の前で、個々に自分の課題と解決方法を発表し、来賓者から評価を頂きました。



# 子供たちを地域で育てる取り組み

## I. 親子iPad教室開催 7月25日 & 8月1日

**親子iPad+プログラミング教室**

7月25日(日) 9時30分～11時 定員10組  
12時～14時30分 定員10組

8月1日(日) 9時30分～11時30分 定員10組

会場 白南児童室  
〒952-291-6021



新潟市地域活動補助事業を活用  
午前・午後10組限定 満員御礼

タブレットに興味深々・  
ワクワクの子供達

真剣な眼差しで集中！先生に質問集中！

## II. 子どもの自己肯定感を高めるリーフレット作成

新潟市地域活動補助事業を活用

子ども・子育て支援リーフレット

**みんなで育もう自己肯定感**

コミュニティ茨曾根子ども部会/編

学んだことを人生や社会に生かそうとする  
「学びに向かう力、人間性など」

未来の状況にも対応できる  
「思考力、判断力、表現力など」

リーフレットは、茨曾根地域に全戸配布致します。

### リーフレットの配布に寄せて

「一人一人の子どもらの『最善の利益を第一に考え、地域力・学校力を結集し、ライフステージに応じた切れ目の無い支援を行い、『子ども・家庭・地域にあふれる笑顔』を実現する。』これは、白南地区コミュニティ・スクールの運営理念です。

この度の『子ども・子育て支援リーフレット』の作成・配布は、この理念の実現に向けた事業の一つです。子育ての目標と言える『自己肯定感の育成』の手立てを、現在進行中の我が国の教育改革と結びつけながら、わかりやすくお伝えしようと努めました。

『子は国の宝』なら、それを育てる『親もまた国の宝』です。白南地区は、保育園・学校・児童館等、地域をあげて、子ども・子育てを応援します。

コミュニティ茨曾根・子ども部会部長  
細河 正行

## III. 「茨っこクラブ」放課後児童クラブ 『子どもは地域の宝』

大切な子どもは地域全体で守り育てていかなければならない！

今年度は、新たな新体制でスタート致しました。民生委員児童委員の細河正行さんを代表者とし運営本部を設置、組織化いたしました。保護者代表4名と児童委員2名で運営上の方針や雑務をにない、学童支援員の先生方は子どもの見守りに専念する体制です。

今年は地域から5名の応援学童補助要員の参加があり、今迄の支援員の方の負担を軽減する事ができました。



## 〔お知らせ〕

### ◆「茨っこクラブ」は、12月25日より白根南児童館に引っ越しました。

思い起こせば10年前、一人の母親が茨曾根にも放課後児童クラブが欲しいと思い行動しました。当時の地域は母親が就業していた場合は、祖父母が孫の面倒を見るのが当たり前という考えが主流でした。そこで自ら努力し、複雑な工程を行政と交渉しながら民設民営の「茨っこクラブ」を立ち上げました。初めは、茨曾根地域生活センターの2階の小さな和室を借り受けそこからのスタートでしたが、年々参加児童数が増え始め、和室では納まりきれず、2階講堂の使用許可を得て活動を続けて参りました。しかし、地域生活センターは天井が低くボールが当たって蛍光灯を破損する等色々問題も生じました。子どもたちが自由に思いっきり遊べる空間として、すぐ近くに白根南児童館(旧茨曾根保育園)があります。白根南児童館には、自由に動き回れるスペースもあり、たくさんの遊戯道具や本もそろっています。この白根南児童館を、茨曾根地区の子ども達が集まり交流を深める拠点に出来ないか、白根南児童館に行けば「茨っこクラブ」の子がいるから、以外の子も達も遊びに行きたいと集まって来てくれる。今後の白根南児童館存続問題もあり「茨っこクラブ」を白根南児童館に拠点を移すことを目標に致しました。3月、運営本部が南区役所の健康福祉課を訪問し提案しました。その後、行政上のいろいろな問題が判明、細河代表が行政との粘り強い交渉を続けた結果、やっと許可が降りたのが冬休みでした。12月24日のクリスマス会を地域生活センターで楽しんでからの引越でした。現在は、児童館の一室を茨っこクラブの専用室として利用、学校から直接白根南児童館に帰ってきます。その後、児童館のルールに添って、宿題・動き回る遊び・静かな遊び等をしながらお迎えを待っています。

### ◆「茨っこクラブ」申し込み随時受け付けています！

少子化が進む中、子どもたちが放課後、子ども同士で遊ぶことは困難です。地域の環境では、同級生の友達と遊びたくても遠くて行けない、さまざまな事を共に体験・共有する事は、仲間意識を持ち幼馴染みとして育ち、やがて地域への愛着へと繋がります。放課後児童クラブはその為の場所でもあります。

**お申込みお問い合わせ：平日3時～6時まで 080-4175-7340**

イベント 駄菓子屋さんごっこ

プロジェクタースクリーンで日本昔話を鑑賞中

魚釣りゲーム



# 世代間交流 第2回下茨子どもの居場所づくりと子ども食堂

## 五九朗会「生き甲斐農園」の秋の収穫祭 「親子で焼き芋大会」

10月9日（土）10：00～12：00 場所：五九朗会の生き甲斐農園

参加者：茨曾根全域の児童と親が対象

共催：下茨自治会・五九朗会地域の茶の間・白根南児童館 協力：下茨消防団

五九朗会の畑で育てたサツマイモを子どもたちが収穫♥焚火で焼き芋を焼いて味わいました。

茨曾根全域から20名の子どもの親が参加しました。宝探しの様にかぼちゃもいっぱい収穫できました

コロナ禍でしたが、総参加者60名 子供たちの土に触れた時の歓声が地域にひろがり楽しい一日でした。



でっかいぞ〜!



いただきます〜す!

おばけカボチャの上です

## 茨曾根地区 コミュニティティ懇談会

今年度は書面開催となりました。南区へ提出したテーマとその回答について、以下のとおりご報告します。

### テーマ1 茨曾根小学校外壁改修工事について

茨曾根小学校が新しく現在地に移転したのは昭和56年だが、平成9年に校舎外壁全面工事が行われて以来、大規模な改修工事は行われていない。現在の校舎の状態を見ると、外壁が剥げ落ちたりして見ても無残な状態であり、地域の宝である子ども達の安心、安全が守られているとは到底思えない。また災害時には避難所にもなっているが、建物自体の安全を今一度見直していただきたいところである。2年後には創立150年となる歴史と伝統ある学校を、きれいな姿で迎えたいという地域としての願いもある。

昨年度には既に地域要望として提出している案件であるが、今後の予定を伺いたい。

回答：茨曾根小学校の外壁はがれについては、教育委員会施設課でも現地確認を行い、状況を把握しているところですよ。

施設整備については、限られた予算の中で緊急性の高いものから順次対応していますが、当該箇所の工事については、9月末に完了する予定となっております。

### テーマ2 空き家対策について

今やどこの集落においても、空き家の1軒や2軒あるのが当たり前のような状況である。きちんと管理されているところもあれば、中には全然手が入らず、草木が伸び放題という所もあり、不審者の侵入や火災、野生動物の繁殖など地域住民が不安になる要素もたくさんある。

また、今年の冬のように大雪になったとき、竹や木の枝が道路に垂れ下がり除雪に支障をきたし車が通れなくなることもある。そういった際、行政としてはどう対応してもらえるのか伺いたい。

回答：管理不全な空き家等を把握した場合は、「新潟市空き家等対策計画」に基づき、現地を確認したうえで所有者等を調査し、所有者等に対し、建物の管理や草木の伐採など

の注意喚起を行い、併せて、所有者等の状況に応じ、不動産の売却、修繕、解体など各種相談窓口の情報提供を行っています。

注意喚起によっても改善されない場合は、助言・指導などの行政指導を行ってまいります。

## はかろう体重！ あるこう南区！大作戦 茨曾根地区達成賞抽選会

12月13日(月)、曾根地域生活センターにて地区限定達成賞の抽選会がコミ協役員において行われました。

当選者の方5名には、達成賞の「サーティワンギフト券」をお送りしました。



## 世代間交流事業 どんど焼き

今年度は新型コロナウイルスの関係で、事業を縮小しての開催となりました。

実際にやぐらを組んだり火をたいたりすることはせず、子どもたちにもぐらの絵とするめを取り付けたものが渡され、小学校にて推進委員長からどんど焼きの由来や本来どのような行われていたのか等について放送でお話をいただく、という形にきりかえて実施しました。

直前まで通常の準備を進めてくださった役員さんたちにおかれましては、大変お疲れさまでした。

